

2021年6月22日

タイにおける「エンジニア人材不足問題」と本県の取り組みについて

バンコク事務所副所長 堀田 高広

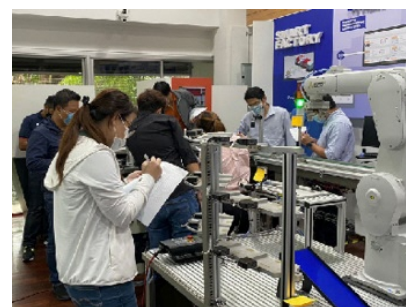
1. 直面する「エンジニア人材不足問題」と日タイ両政府の取り組みについて

(1) タイ進出企業の直面する「エンジニア人材不足問題」

ジェトロバンコク事務所の調査¹によると、2020年時点で5,856社の日系企業がタイに進出しており、業種別では製造業が2,344社(40.03%)と最大である。また、タイ投資委員会(BOI)によると2020年の日本のタイへの直接投資額は、759億バーツ(2,656.5億円)と国別では中国を抜いて首位であり日本にとってタイは依然として投資先としての魅力を維持している。一方、既に進出している日系企業は、製造業・非製造業ともに「人材の質が不足している」と感じており、特に製造業では職種として「エンジニア人材(R&D人材を含む)の不足」を感じている企業が7割を超えている²。同様に進出県内企業から優秀なタイ人エンジニアを採用することが難しいといった声が聞かれた。タイ政府は、「タイランド4.0」を掲げ知識集約型への産業の高度化を目指し人材の育成に取り組んでいるが(詳細はバンコク事務所レポート参照³)人材の質・量という面において十分な成果を上げているとは言えない。

(2) 日タイ両政府の取り組み

日本とタイ両政府は不足するタイ人エンジニア人材不足問題解消及び生産性・産業競争力向上を目的として連携した取り組みを進めている。2020年7月から、日本の経済産業省の委託を受け、(一財)海外産業人材育成協会(AOTS)がタイ工業省産業振興局等と協力し、タイ人エンジニアを対象にした日タイ共同の人材育成プロジェクト「Lean IoT Plant Management and Execution(LIPE)」を開始し、これまで約300人の人材育成を行った(写真1)。AOTSの担当者によると「LIPEでは3日間の研修を通して生産設備のムダを特定し改善につなげるためのシンプルなIoTを活用したデータの効率的な収集や分析方法を学ぶ。この人材育成を通じて中小製造業でもIoTを活用して生産性と競争力を向上させることが可能となる。」とのことであった。AOTSは、タイ国内の教育機関などと連携し、今後1万人以上



(写真1) LIPEで学ぶ研修生
出典：AOTS提供

¹2021年3月「タイ日系企業進出動向調査2020年調査結果」(JETROバンコク)

²2021年1月26日「JCC2020年下期日系企業景気動向調査(概要)」(バンコク日本人商工会議所)

³<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/125029.pdf> (2020年12月レポート)

のタイ人エンジニアの育成を目指しており、LIPE を修了したエンジニアが、日系企業の人材不足解消の一助になることが期待できると考える。

2. バンコク都と福岡県の取り組みについて

バンコク都と福岡県は、2006年の友好提携以来、経済・環境・文化・教育・青少年交流・育成といった幅広い分野での交流を積み重ねてきている。本年3月にはAIやIoTといった分野に絞った青少年交流・育成事業「未来技術分野での青少年交流・育成プログラム」を実施した。本事業では専門技術を学ぶ日タイの学生10名が参加し、オンラインでのワークショップや専門家による講義を通じて、両地域の共通課題として高齢化問題（交通弱者や高齢者の徘徊問題）を取り上げ、解決策として高齢者の移動をサポートするアプリやロボット、高齢者を見守るGPS・AI機能を搭載したブレスレットの設計・開発を行った（写真2）。当事務所では、事業期間中バンコク都を訪問し、タイ側の学生に対して福岡県の高齢者事情に関する情報提供や来年度のテーマに関する情報交換を実施した。

なお、本事業に協力いただいた小型産業用ロボット導入支援を行っているICS SAKABE（本社：北九州市）の坂部社長は、「本事業を通じて県内及びタイの将来を担うエンジニア人材と接点を持つ機会が得られ、当社の認知度向上も図れた。今後、優秀な人材の確保につながることも期待している。」と語っておられた。同事業は青少年交流・育成にとどまらず、県内関連企業へのエンジニア人材の不足解消につながる可能性もあると考える。



（写真2）学生達が設計・開発した製品イメージ

3. 今後の見込み

エンジニア不足問題を抱えているものの、両政府、両地域間での課題解決に向けた取り組みは着実に進められており、BOIによる外資優遇政策⁴に加え、米中貿易摩擦拡大に伴うタイへの生産拠点移転という外的要因も追い風となり、タイは今後も投資先として有望な地域であると考えます。当事務所として引き続きタイ進出に活用可能な政策等⁵の情報収集を行うとともに、県内企業の進出をサポートしていくので是非ご活用いただきたい。

※為替レート 1 バーツ≒3.5 円

⁴<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/05/60401ef5675294c4.html>

⁵AOTS が実施する進出企業の現地産業人材育成を支援するため各種補助事業

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/overseas/category1/>